

本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料の権利は当社に帰属します。無断複製を行わないようお願い致します。

第9期(2007年3月期)中間決算説明会

2006年11月10日



株式会社ビーマップ



ビーマップの事業ドメイン

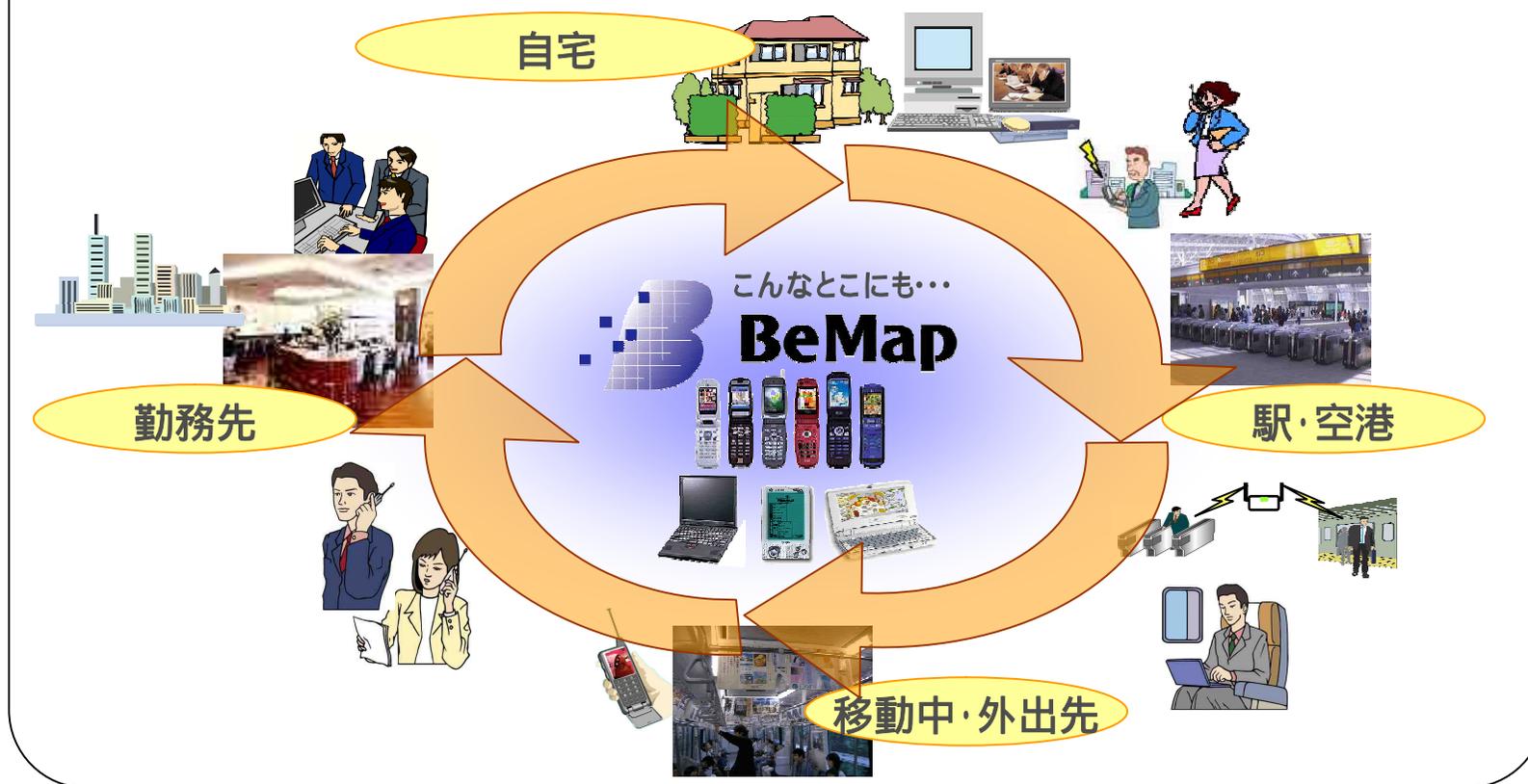


多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする
ソフトとサービスの提供

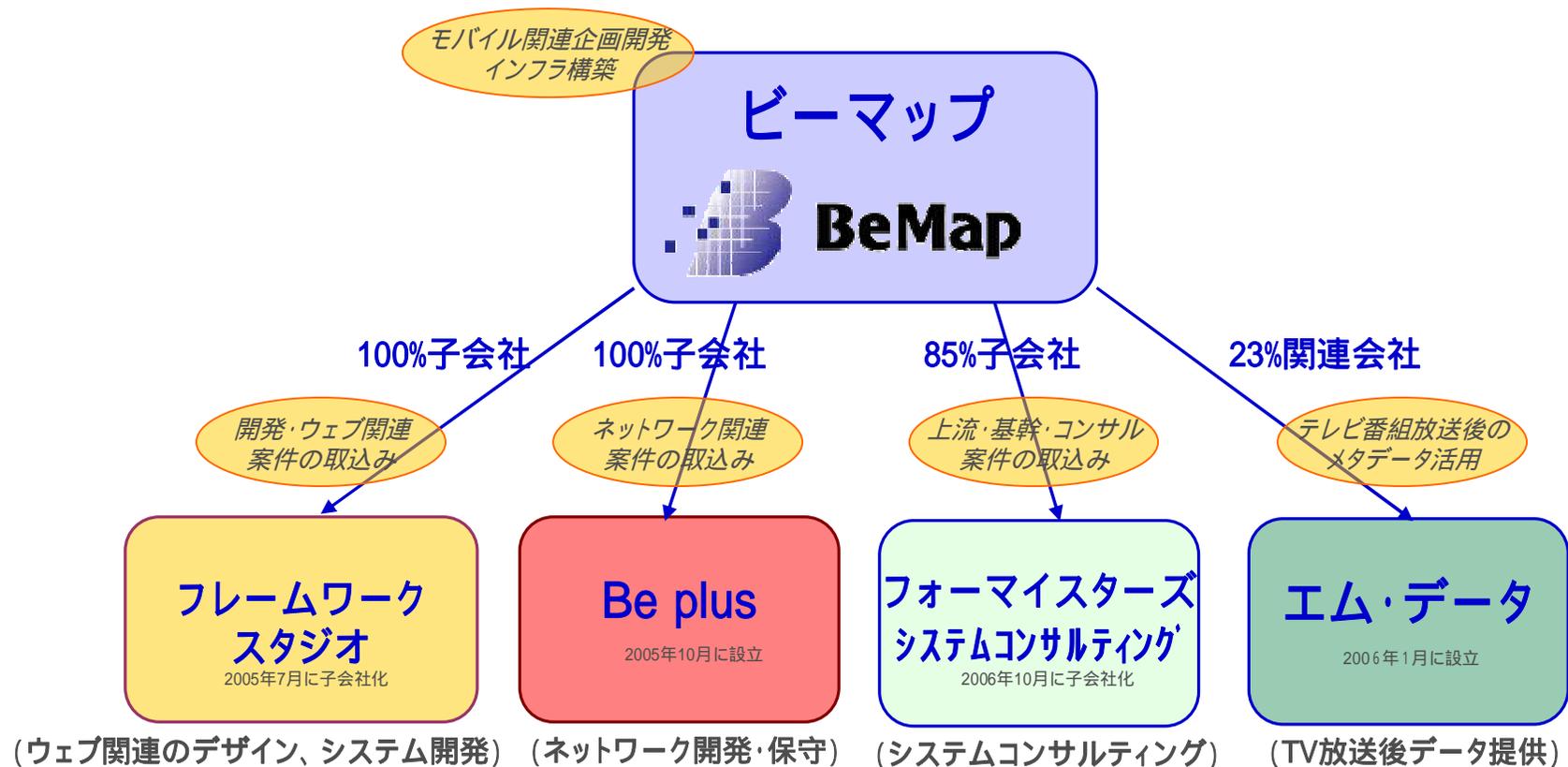
Best Mobile Application Producer



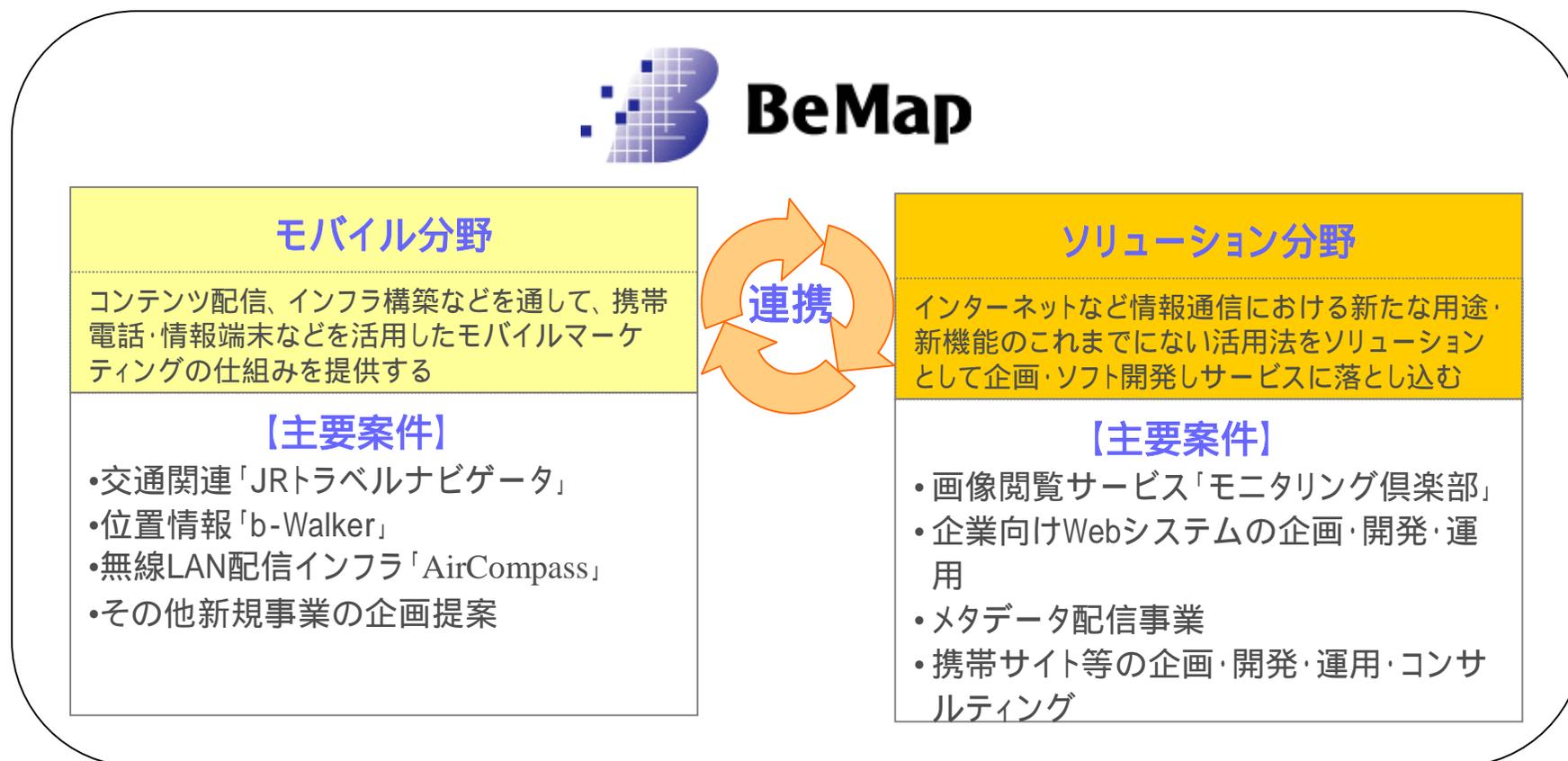
移動者マーケティングにおいて、社会インフラと情報端末を結びつける仕組み・サービスを提供する



- 子会社設立、子会社化などを通して、ビーマップのサービス提供機能を強化。
- さらに、顧客基盤を共有しながら、新しいビジネスを創造する。



- サービス内容に対応し、事業構成を「モバイル分野」「ソリューション分野」に編成。
- グループ力を活かし、一気通貫のサービス提供、および新規事業の企画提案を展開。



- クライアント・ビジネスパートナーと構築したネットワークで、新たなユーザーニーズ・用途に対応



2007年3月期 中間期の業績



2007年3月期の主要アクション



2007年9月 中間期

4月: WILLCOM製端末W-ZERO3向けに音声ガイド付き位置情報活用サービス提供開始

4月: 株式会社フレームワークスタジオと共同でビジネスブログサービスを開始

5月: テレビ情報検索システム「MetaTV」サービス開始

6月: MITAC INTERNATIONAL CORP社のPDAに位置情報活用パーソナルナビゲーション新版を提供

6月: オックスホールディングス株式会社との包括的業務提携の解消

8月: テレビ番組放送後の2次調査データ提供開始

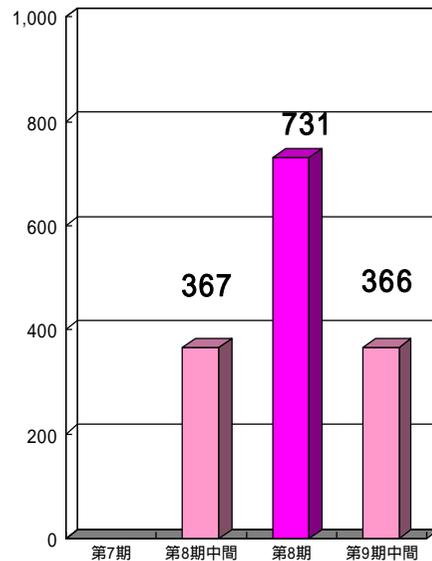
9月: htc製端末 htc Z向けに位置情報活用ナビゲーション新版提供開始

10月: フォーマイスターズ・システムコンサルティング株式会社の子会社化

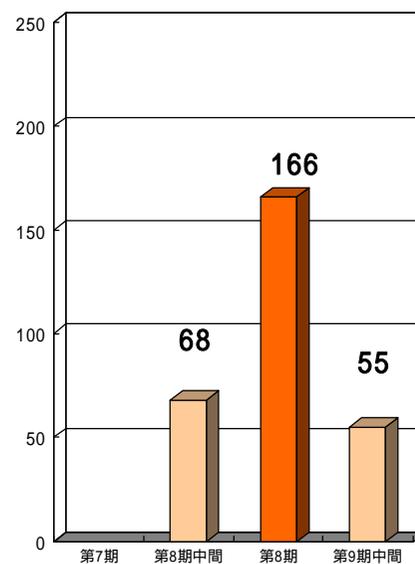
売上高および損益の推移 (連結)

- 売上高は前期比微減(0.3%ダウン)。
上期内に予定していたモニタリング、無線LAN等の納品・売上の一部が下期に延伸したことにより当初計画476百万円より遅延。
- 先行して費用が発生したことにより各利益も低下。

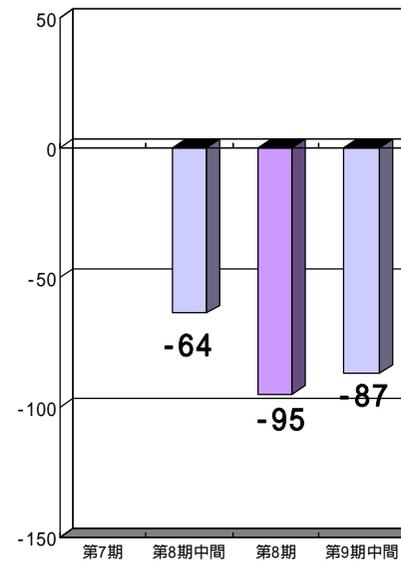
売上高



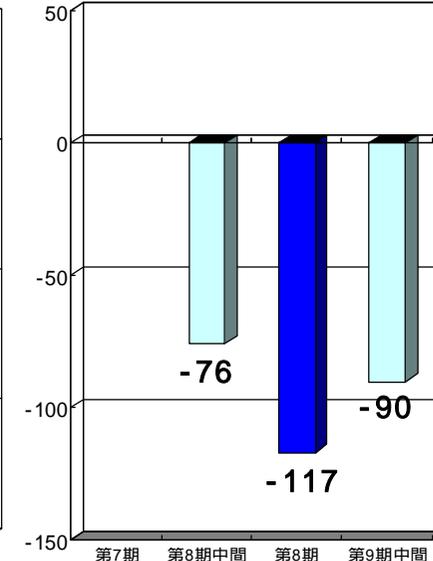
売上高総利益



営業利益



経常利益



(単位:百万円)

業績・収益性の分析 (連結)

- 売上高は当初予算(476百万円)を下回り、**前期比0.3%ダウン**。
モバイル分野 位置情報で前期からの継続案件の受注により予定を上回ったものの、同分野無線LANにおいて前期からの案件が長期化したこと、ソリューション分野 モニタリング倶楽部においてフランチャイズコンサルティング事業者への納品・売上計上が下期に遅延したことが影響した。
- 売上高総利益、営業利益、経常利益は先行して費用、販管費が発生したことにより当初予算・前期をいずれも下回る。
- 投資有価証券の評価損計上により純損失が拡大。なお、オックスホールディングス株式会社との業務提携解消に伴う有価証券の売却により特別利益約70百万円を計上している。

中間期業績比較	第8期中間期 (2005年9月)	第9期中間期 (2006年9月)	前年同期比	
			金額	百分率
売上高	367	366	1	-0.3%
売上高総利益	68	55	13	-19.1%
売上高総利益率	18.5%	15.2%	-	-
販売管理費	132	143	11	8.3%
販売管理費比率	36.0%	39.2%	-	-
営業利益	64	87	23	35.9%
営業利益率	-17.5%	-24.0%	-	-
経常利益	76	90	14	18.4%
経常利益率	-20.7%	-24.8%	-	-
当期(中間)純利益	86	343	257	298.8%
当期純利益率	-23.6%	-93.6%	-	-

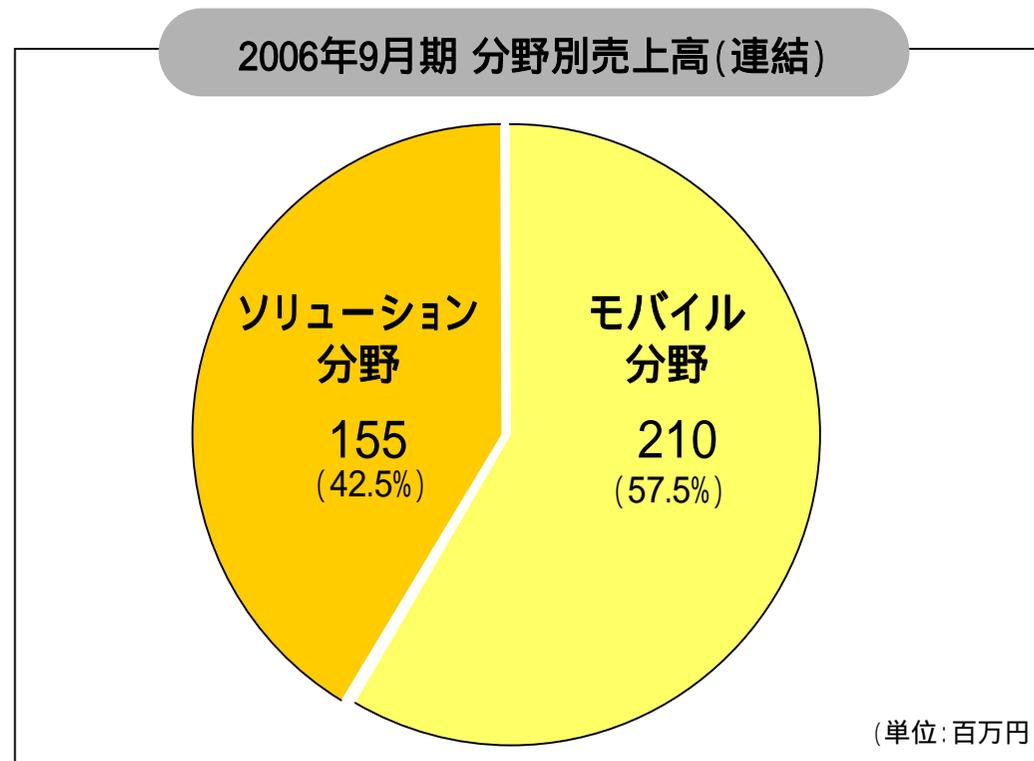
(単位:百万円)

・無線LAN、モニタリング倶楽部などの下期への遅延が売上減の要因。

・前中間期に比べ、いずれも下回る。先行して費用、販管費が発生したことにより利益を圧迫。

・投資有価証券の評価損(約330百万円)を計上。
・業務提携解消に伴う有価証券の売却により特別利益(約70百万円)を計上。

- モバイル分野は、位置情報において前期からの期ズレ案件受注により当初予定を上回ったものの、無線LAN、交通関連において予算未達成。
- ソリューション分野は、モニタリング倶楽部において大型案件の納品・売上が下期に延伸、また、Webモバイル開発、関係会社いずれも予算未達成。メタデータの立ち上げが遅れる。

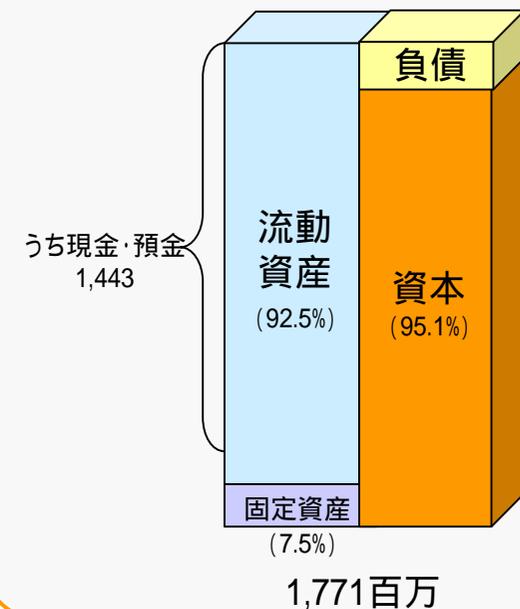


バランスシートの状況(連結)

- 投資有価証券の評価損計上(3月末、6月末実施)により固定資産が減少。また、業務提携解消に伴う有価証券の一部売却により現預金が増加。
- 借入金はなく、無借金経営を継続。自己資本比率95.1%。

	第8期中間期 (2005年9月・連結)	第8期 (2006年3月・単体)	第9期中間期 (2006年9月・連結)
資産合計	2,599	2,140	1,771
うち現金・預金	1,198	1,249	1,443
流動資産比率(%)	53.4%	70.1%	92.5%
固定資産	1,207	641	132
負債合計	221	113	85
うち流動負債	214	111	85
資本合計	2,377	2,027	1,685
自己資本比率(%)	91.5%	94.7%	95.1%

2006年9月末バランスシート

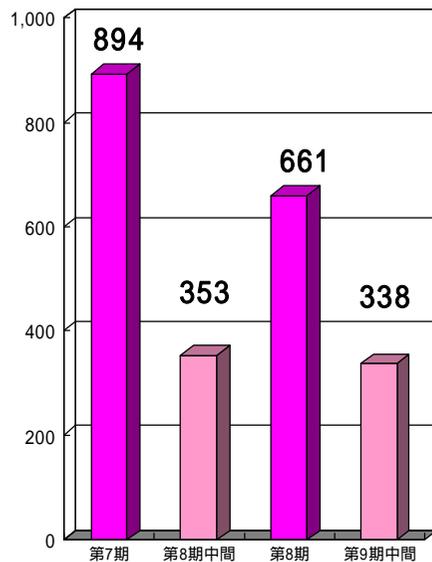


ご参考 売上高および損益の推移 (単独)

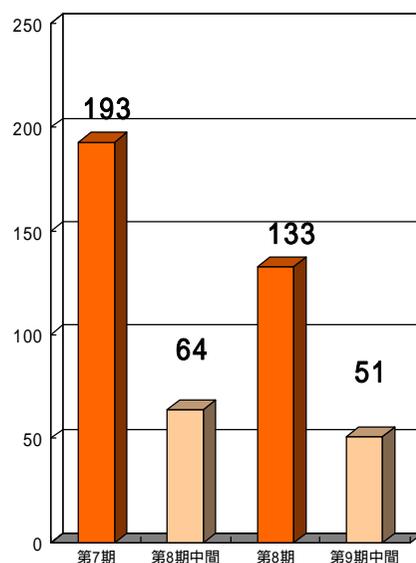


- 売上高は前年同期比4.2%減。

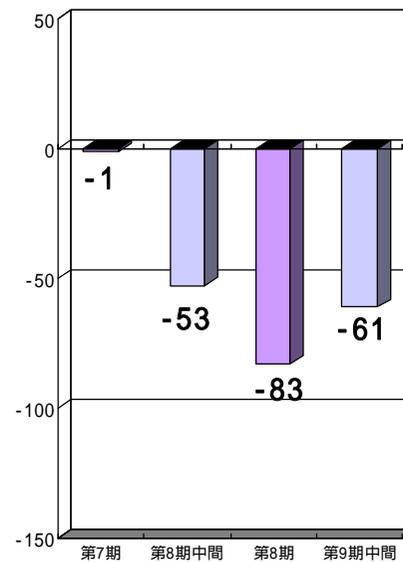
売上高



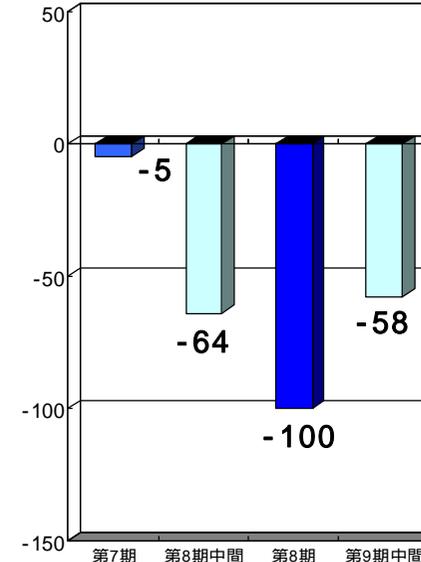
売上高総利益



営業利益



経常利益



(単位:百万円)

- 売上高は当初予算(427百万円)を下回り、前期比95.8%。
- 売上高総利益、営業利益、経常利益は先行して費用が発生。
- 投資有価証券の評価損及び売却により、特別利益・損失をそれぞれ計上。

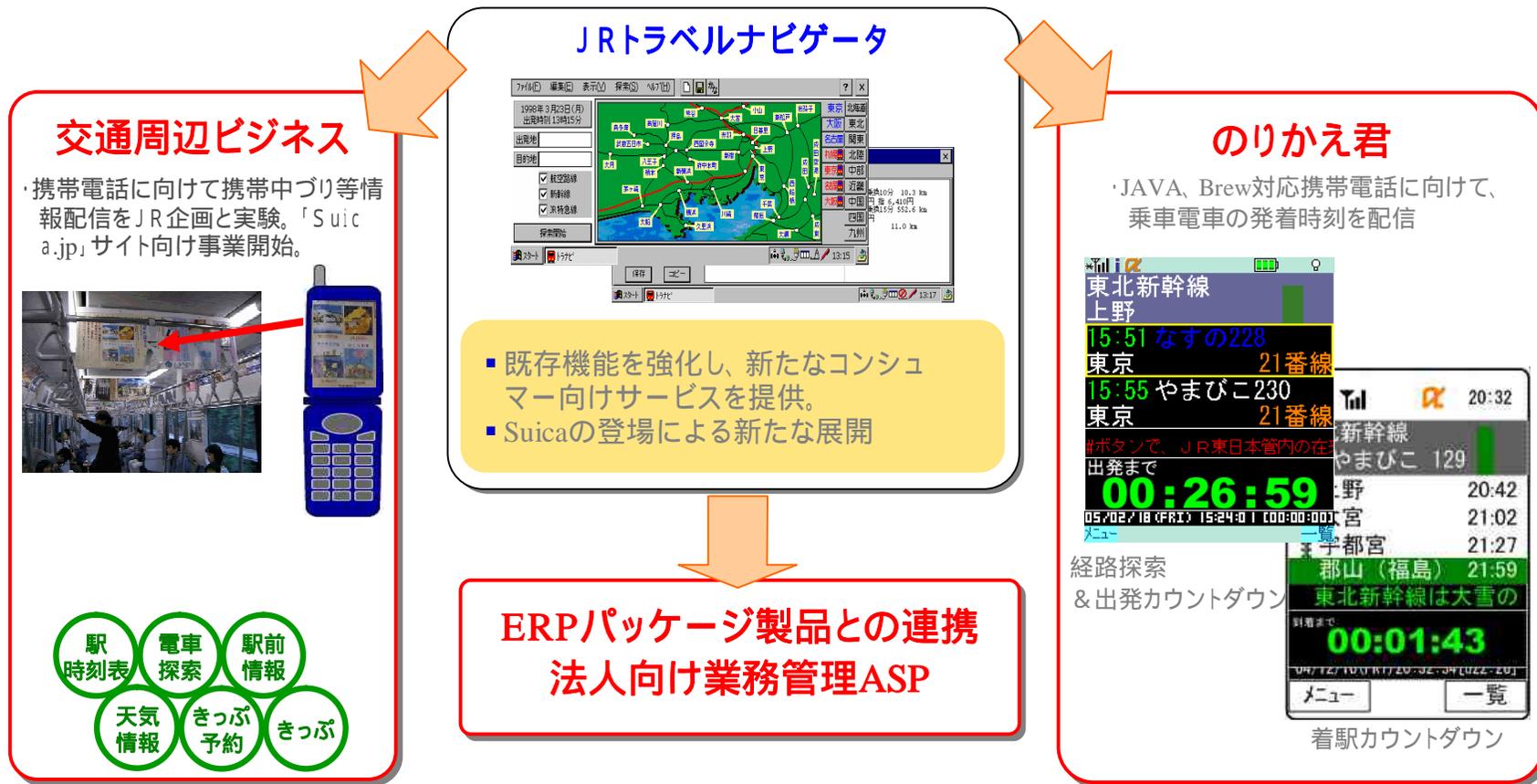
中間期業績比較	第8期中間期 (2005年9月)	第9期中間期 (2006年9月)	前年同期比	
			金額	百分率
売上高	353	338	15	-4.2%
売上高総利益	64	51	13	-20.3%
売上高総利益率	18.2%	15.3%	-	-
販売管理費	118	113	5	-4.2%
販売管理費比率	33.4%	33.4%	-	-
営業利益	53	61	8	15.1%
営業利益率	-15.2%	-18.0%	-	-
経常利益	64	58	6	-9.4%
経常利益率	-18.1%	-17.2%	-	-
当期(中間)純利益	74	309	235	317.6%
当期純利益率	-21.2%	-91.5%	-	-

(単位:百万円)

事業戦略・取り組み



- 最新の時刻表コンテンツ提供のため、運用系のシステム改善・システム強化を実施。
- グループ内での内製化率アップによる利益率向上を目指す。
- 他社業務統合システム(ERP)パッケージとの連携に向け、業務管理ASPの企画開発と受注活動を展開準備中。
- モバイルSuicaとの連携も視野に入れ、JRグループとの連携を強化中。



- ナビゲーションシステムをPDAメーカー、通信事業者に提供。
マイッタクインターナショナル、日本ヒューレッドパカードなどを顧客化。
- 事業者向けにSFA/FFAパッケージツールとして販売。



ナビゲーション:

日本通信、日本HP、MiTACなどの大手PDAサプライヤーにライセンス提供。

通信事業者:

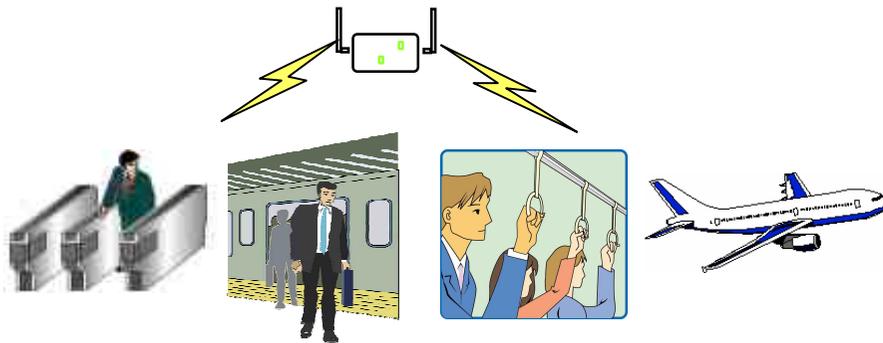
個人向けナビゲーションソフトとしてバンドル提供。

SFA/FFA ツール:

SFA/FFAツールとして、事業会社へ提供。
業務パッケージとして横展開。

下期以降注力!

- 首都圏、関西圏等人口集中地域の通勤・通学手段としての鉄道主要駅で、コンテンツ配信を行う。
- NTT系無線LANサービスを統合するNTTブロードバンドプラットフォームと連携し、共同でエリア拡大。
- 通信キャリア主要4社へサービスを提供。



無線スポットは駅周辺から航空機・列車内

NTTグループの無線LANサービスは、
NTT-BPに統合して展開

無線配信のデファクトを目指す!

【新聞・ニュース配信】

ニュース速報をチェックしたり複数社の新聞を購読するなど、幅広い情報収集が可能。文字だけでなく、ニュース映像付きで見られる。



【小説・雑誌・コミック】

縦書きの小説を挿絵や写真つきで楽しんだり、有名紙・雑誌・コミックが読める。



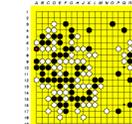
【音楽配信】

カラオケ、音楽試聴などの音楽も楽しめるからPDAをウォークマン代わりとしても使える。



【ゲーム・占い】

ゲームや、占いなど、ちょっとした時間に、携帯ゲーム機としても楽しめるコンテンツ。



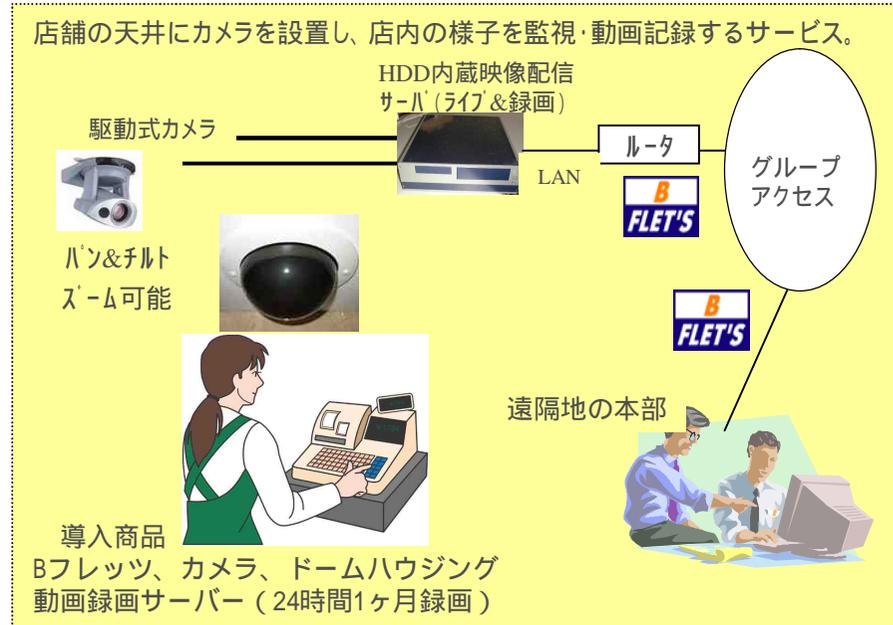
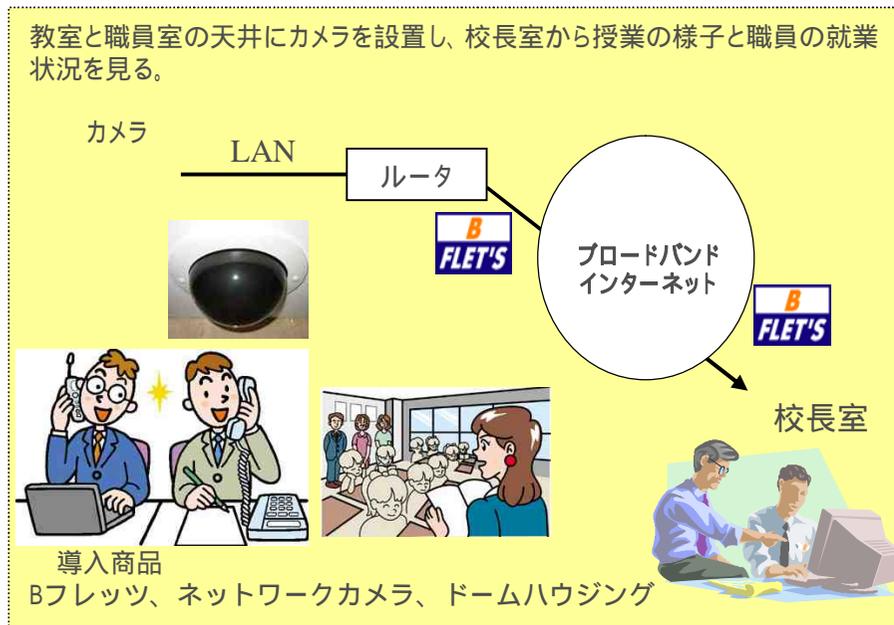
【映像配信】

映画、ドラマ予告編などの映像を好きな時に楽しめる。



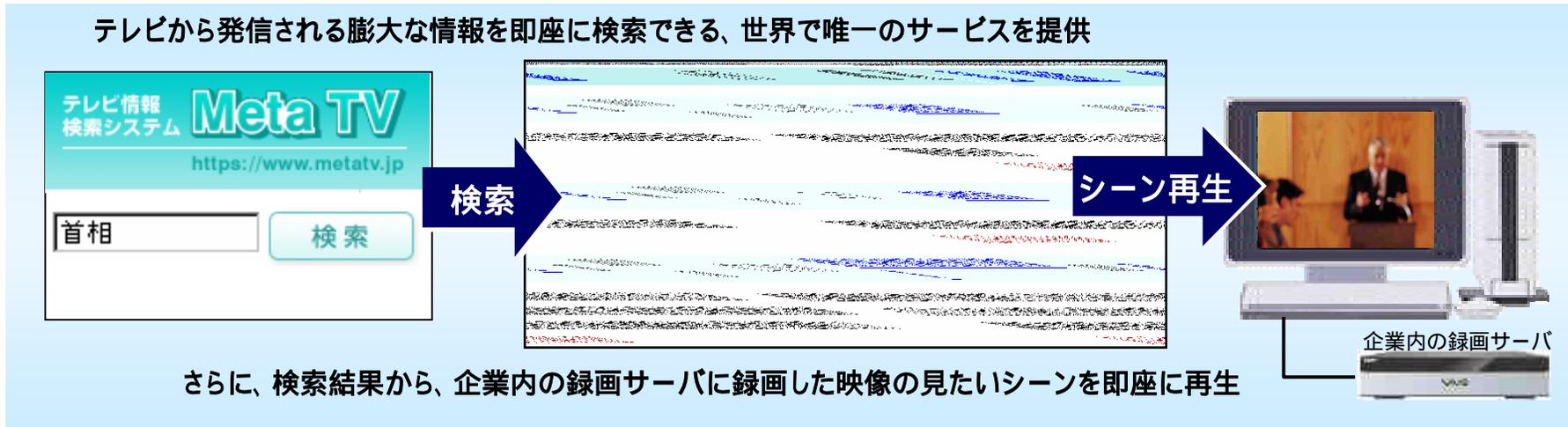
- 事業者向けブロードバンド遠隔監視システムとして、直接営業 + NTT東日本への販売委託。
- 大手企業など1,200箇所以上に導入実績。今期末までに1,500箇所以上を予定。
- ASP機能の提供でも着実な成果を上げる。

〔導入事例〕



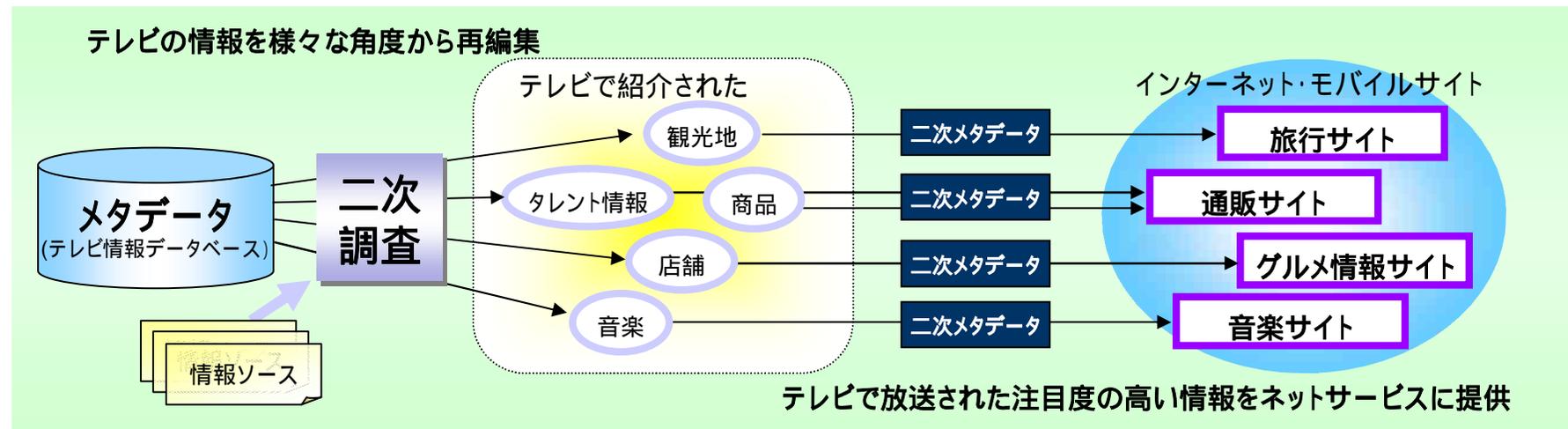
■ テレビ番組の放送内容をデータベース化 —— テレビ情報検索サービス「MetaTV」

テレビから発信される膨大な情報を即座に検索できる、世界で唯一のサービスを提供



■ テレビの情報を再編集し提供 —— ネットとテレビの融合を加速させる「二次メタデータ」

テレビの情報を様々な角度から再編集



- 当社が蓄積した顧客基盤、企画ベースの開発力、システムの安定運用の実績などを基に、各種開発案件を受託し、システム・サイトのコンサルティング・企画構築・保守運用を受託。
- 更に、フレームワークスタジオ・Be plusと連動して、新サービスの企画提案も展開中。

【ソリューション分野の企画開発案件】

当社の顧客基盤

企画ベースの開発力

安定運用の実績

【携帯電話サイトのコンサルティング】

・携帯電話サイトのコンサルティング・開発・運用

【企業のWebサイトの企画開発】

・ポータル系サイトの企画・開発
・企業のWebサービスの企画開発

【キャリア向け企画開発】

・キャリア向けにシステム開発の企画提案・開発・運用

【自治体などのサイト構築・運営】

・地域活性化のための自治体系サイトの受託

【保守・運用】

- 2001年に設立、Webサイトの構築、デジタルコンテンツの企画・開発などを手がける。
- 2005年7月に、ビーマップの100%子会社となる。



【フレームワークスタジオの代表的な制作実績】

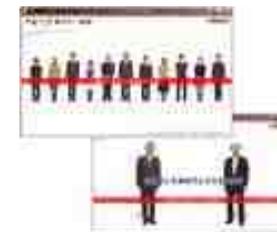
フジテレビ:「プログタイプ」 番組オフィシャルサイト

フジテレビバラエティ番組
「プログタイプ」オフィシャルサイト。
週更新の迅速化・利便性を考慮し、
Flash+ XML 利用の設計にて構築。



(株)Jストリーム: PIPコンテンツ制作実績

PiP(Person in Presentation)を利用し、
年賀状コンテンツ作成。
FCSとFlashの同期パートFlashのみの
パートを細かく展開し、説明コンテンツ
としてのFlash技術の利便性を追求。



BBB (BSD BIKE BUFFET): バイク検索ポータルサイト

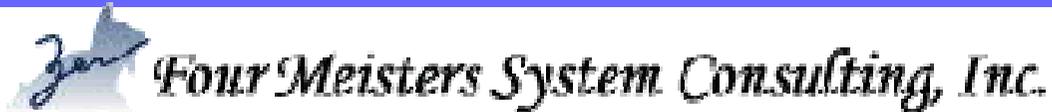
日本最大の2輪オークション会社が運営
する、中古バイク情報サイト。
DBのシステムリプレース、過去ページを
生かしたリデザイン、共通ヘッダ&フッタ
制御ツール、などの、設計～デザイン～開発。



サンシャイン劇場: オフィシャルサイト制作

サンシャイン劇場オフィシャルサイトの
リニューアル。
上演情報をトップページでビジュアルで
効率よく見せるために、Flash+XML利用
の設計にて構築。





- 2003年に設立、システムコンサルティング、開発標準モデル「Blend style」の販売等を手がける。
- 2006年10月に、経営陣によるMBOを支援し、子会社化(85%)。

【フォーマイスターズ・システムコンサルティング社の主な導入事例】

< 大手フィルムメーカー >

【顧客システム内容】

WEB上でデジカメ画像のプリント注文を24時間。
サービス利用顧客にとって、全国2万店の写真専門店、コンビニ、駅、宅配による自宅での受け取りを可能とし、携帯写真のプリント、ネットアルバム、ポストカード制作も利用可能に。

【FMSC社ビジネス】

従来システムの全面リニューアルを受注。「Blend Style」による開発、システムコンサルティング、及び、アプリケーション全体の開発管理を実施。

< その他 大手石油会社、大手電機会社、大手通信会社 などに実績あり >

2007年3月期通期の業績予想



- 既存事業への経営資源の集中により、既存事業一つ一つの売上規模を拡大し、収益力を強化していくことを至上命題とする。

既存事業

モバイル事業

既存のbtoBtoCモデルをパッケージングし、ASPとして横展開を狙っていく。

ソリューション事業

サービスラインアップの充実、グループ会社との連動による提案力の強化。

新規事業

メタデータ事業の立ち上げ、収益化。

2007年3月期業績予想(単独・連結)



- 中核事業での売上拡大で、連結売上1,396百万円を予想。
- 既存事業とグループ連携を中心に収益を上げ、連結での営業利益99百万円、経常利益45百万円を予想。

	第8期通期実績 (2006年3月) 連結	第8期通期実績 (2006年3月) 単独	第9期通期予想 (2007年3月) 連結	第9期通期予想 (2007年3月) 単独
売上高	731	661	1,396	1,093
営業利益	95	83	99	85
営業利益率	-13.0%	-12.6%	7.1%	7.8%
経常利益	117	100	45	28
経常利益率	-16.0%	-15.1%	3.2%	2.6%
当期純利益	432	427	291	303
純利益率	-59.1%	-64.6%	-20.8%	-27.7%

(単位:百万円)

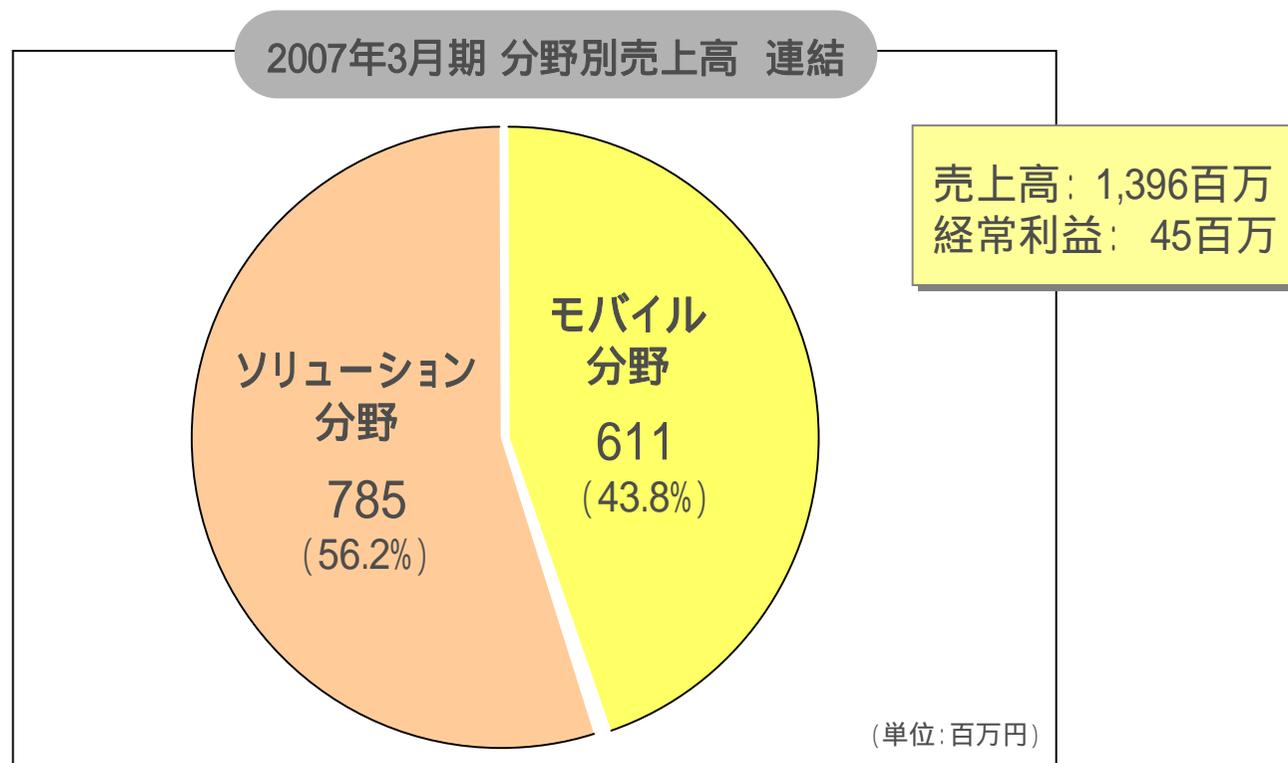
売上予想:

- ✓ トラベルナビゲータのASP化開始
- ✓ 位置情報関連のプラットフォームの多様化
- ✓ モニタリング倶楽部の堅調な増加
- ✓ 企画開発運用案件の積極的な営業
- ✓ メタデータ事業の本格稼働。

収益:

- ✓ グループ連携による内製化の促進による収益率の向上。
- ✓ 有価証券の評価損により、当期純損失を計上。

- btoBtoC案件とbtoB案件の両面展開。
- 既存事業を強化することで安定した売上構成を目指す。
- 予 / 実管理を適切に行い、当期中の受注・売上を確実に行う。



最後に

～ 今後のビーマップが目指すもの～



勤務先

自宅



移動時の無駄時間が有効な時間へ!



経路探索、携帯中つり、無線LAN、送客サービス、通勤TV、コンテンツ配信



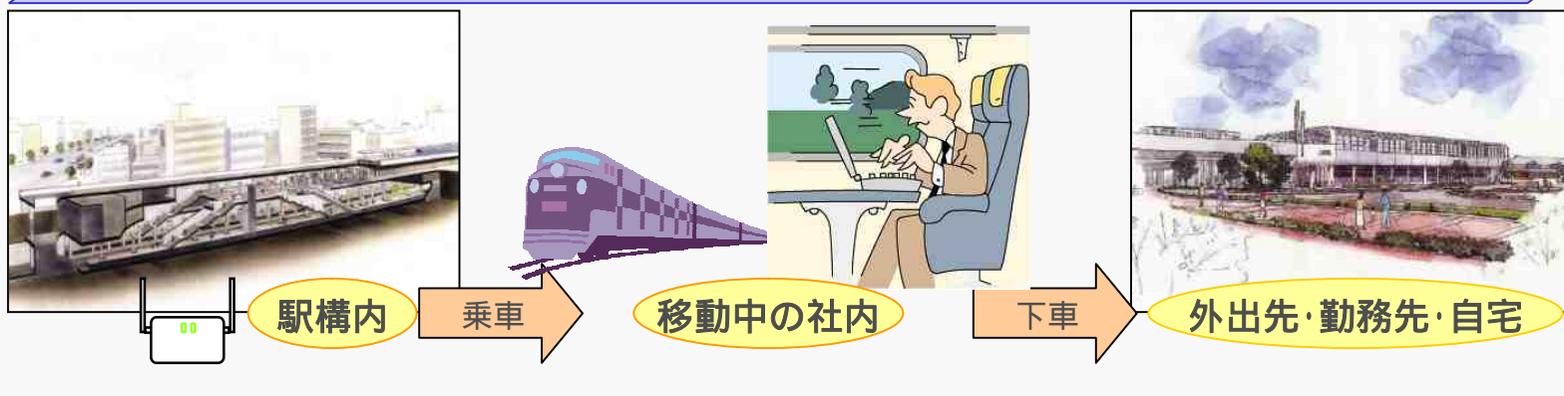
欲しかった情報を瞬時に提供!



位置情報、画像配信技術、ナビゲーション、生活情報

駅～列車内のシームレスエリア展開

各LANのエリアで、端末の設定を変えることなくそのまま通信可能



無線技術の進化、携帯電話との融合

大きなチャンスをしっかり掴み、
無線LANを中心とする当社のビジネスに取り組んでまいります。

本日はありがとうございました。

株式会社ビーマップ

〒112-0001

東京都文京区白山5 - 1 - 3 東京富山会館ビル7F

社長室 IR担当 (大谷)

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しの上に全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなれるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。